

プロセス5 成果を振り返る(確かめる)

【行動計画P. 18】

項目	事業名	担当課	(1)令和7年度実施状況				(2)目標指標の状況		
			取組内容	協働の相手	事業の評価	効果、理由(問題点)	基準値 (R3)	目標値 (R9)	現状値 (R7)
				①～⑦					
(1)「協働のまちづくり」事業の検証	行動計画の進行管理	市民協働推進課	・各担当部署における事業の実施 ・令和6年度実施状況調査の実施	－	A	効果 掲載事業の実施状況調査による振り返りを行うことで、協働への意識啓発及び取組の改善を考える機会につながる。 問題点 協働の効果は見えにくいため指標の設定や評価が難しい。	事業達成率 65%	事業達成率 80%	事業達成率 95.18%
(2)評価・公表するガイドラインの確立	協働事業に係る評価・公表制度の検討	市民協働推進課	中間年度である令和7年度に実施 とちぎボランティアNPOセンターぼ・ぼ・らのアドバイザー派遣を利用して、行動計画についての評価・助言をいただき、その内容を各課にフィードバック。庁内に目標値の改善・変更を働きかけた。	－	A	行動計画の指標の設定や公表の方法について、見直すことができた。	評価・公表制度の明確化 未実施	評価・公表制度の明確化 実施	評価・公表制度の明確化 実施
(3)市民意向の把握	次期総合計画策定に向けた市民アンケート調査	企画政策課	未実施	－	D	問題点 ・総合計画に対する市民の関心が低い。 ・これまでとは違ったアプローチで総合計画の策定を検討しているため、アンケート実施については検討中。	回答率 52.5%	回答率 55.0%	未実施
	協働に関するアンケート調査	市民協働推進課	・市民活動センター事業の実施の際、参加者に対し協働に対する意識を確認するためアンケート調査を実施した。 ・できるだけわかりやすい設問とし、結果を踏まえ次年度以降の事業内容に反映できるよう具体的な回答をしやすくした。	①②③④⑤⑥⑦	C	申込み制の事業では回答率がよいが、不特定多数の参加があるイベントでは、回答者に特典を用意するなど回収率を高める工夫を行った。	アンケート回答者数 291人	アンケート回答者数 500人	アンケート回答者数 202人